

## 総括

南区地域自立支援協議会は、平成 22 年 5 月の代表者会議で設置されてから、4 年 10 ヶ月が過ぎた。平成 23 年度の専門部会の活動内容から大幅に活動を縮小し、事務局活動に重点を置く形で活動を開始して約 3 年が経過している。

「南区に生活する障害児者が、本人の特性やライフステージに応じ、充実した地域生活が送れるように、地域として支援していく」目標（理念）の元、ケアマネジメントの視点の共有や、個別支援会議が活発に行われる地域を目指して、別項で報告するように、事務局が各事業所へ出向いていき、当事者理解のための勉強会や個別支援計画作成の会議への参加、各事業所での打ち合わせ等を通じて個別支援会議の開催支援を継続している。

専門部会の活動は、精神障害者専門部会と知的障害・身体障害者専門部会の重心分科会という二つの専門部会のみとし、事務局活動に傾注できる環境を整えているが、ここでの活動もまた、事例検討を軸として個の支援についての検討を重ねていく場となっている。事務局活動と各専門部会の活動の積み重ねから、地域における課題抽出に至ることは出来ていないが、今後もこれらの活動を継続していく事が出来るのであれば地域自立支援協議会のキーとなる個別支援会議が活発に行われる地域を目指すための取組が少しずつではあるが確実に前進していくものと考えている。

また、南区自立支援協議会のその他の活動としては「スキルアップ研修」を例年通り実施し、支援機関同士の顔が見える関係づくりと互いの支援を知る機会としている。また、「南区卒業生進路懇談会」においては、卒業生をイメージできるような工夫を行い、懇談会の場でより具体的な話し合いが行われるようにしている。「公開講座」は昨年に引き続き、南公会堂にて地域住民に向けた講演会を企画・運営している。

以上が、今年度の南区地域自立支援協議会の活動の概略である。協議会の活動のキーである個別支援会議の開催支援については、まだまだ物足りない感は否めないが、来年度も、障害のある方を中心において、地域自立支援協議会としてできることを真剣に取り組んでいきたい。